

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	建築デザイン史	担当者	大城 美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	今日の建造物の造形意匠を理解する上で最も基礎となる近代建築に関する意匠の諸相を中心に講述する。				
到達目標	近代建築運動の主要の流れとその代表作が時代に反映、影響を及ぼした歴史を述べる学生のデザインへの探求心へ導く。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業導入【衣・食・住】【デザイン史】について			2
	2	産業革命～芸術運動			2
	3	建築とは			2
	4	美しい建築の造形印象を与える表現心理的な印象をあたえる表現			2
	5	中間テスト振り返り(①～④)			2
	6	近代3大建築とモダニズム			2
	7	沖縄県戦後建築物【SDs】			2
	8	評価試験モダニズム～3大巨匠まで			2
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				16
教科書	建築の歴史、 参考文献【建築20世紀 PART1・2】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率5%、中間テスト40%、評価テスト40%、授業取り組み15%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築環境工学	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	人々が快適に過ごすため、建築における、日照、採光、温熱環境などの原理を学び、快適な室内環境の創造のため知識を知る。				
到達目標	快適に過ごせる室内環境を具体的に述べる。 住宅設計課題の建築計画に応用する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	住まいを取り巻く環境について 自然と暮らし・現代住まいと環境計画			2
	2	光環境 照明			2
	3	光環境 色彩			2
	4	温熱環境 温度と熱移動			2
	5	温熱環境 室温と熱負荷			2
	6	温熱環境 湿度と結露			2
	7	温熱環境 体感温度			2
	8	温熱環境 太陽と日射			2
	9	空気環境 室内の空気を汚染する物質			2
	10	空気環境 自然換気・機械換気・換気計画・通風			2
	11	音環境 音の性質			2
	12	音環境 室内の音			2
	13	音環境 室内の音響・騒音と振動			2
	14	蒸暑地域における住まい環境(沖縄の環境)			2
	15	京町屋 住まいの知恵			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				30
教科書	住まいと環境(彰国社)				
時間外学習					
成績評価方法	出席率5%、期末テスト80%、授業取り組み15%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	建築一般構造	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修	
授業概要	各種構造方式の木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート造などの概要を講述する。					
到達目標	建築物の各構造の名称、特性について理解するとともに、建築用語の内容の把握を目指し構造の影響を理解し、設計演習に連携させながら建築工学的な知識を習得する。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	建築構造の種類。			2	
	2	構造計画に関わる用語について。			2	
	3	地盤について(地層・地盤調査)			2	
	4	基礎、杭			2	
	5	建築物にはたらく力(荷重・外力)。			2	
	6	木構造:基礎、軸組、小屋組み。			2	
	7	木構造:床組、階段、開口部、外部仕上げ。			2	
	8	木構造:内部仕上げ。 ※木構造のまとめ			2	
	9	鉄筋コンクリート造:特徴と構造形式。			2	
	10	鉄筋コンクリート造:主体構造(基礎・柱・梁・スラブ・壁)			2	
	11	鉄筋コンクリート造:材料と配筋・継ぎ手・定着・あき寸法			2	
	12	壁式鉄筋コンクリート構造:特徴と構造形式。			2	
	13	鉄骨構造:特徴と構造形式。鋼材の種類。接合。			2	
	14	鉄骨構造:骨組みの構成(梁・柱)			2	
	15	補強コンクリートブロック造			2	
	16	※授業の進捗状況、学生の理解度等を考慮し余裕が見受けられたら				
	17	木造軸組み模型の制作を行い木構造の理解度を上げる				
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				30	
教科書	特になし、参考文献【「構造用教材」 日本建築学会・「図説 やさしい建築一般構造」専門課程 建築構造」 学芸出版】					
時間外学習						
成績評価方法	出席率5%、期末テスト80%、授業取り組み15%					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築材料学	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築物を構成する材料。主にセメント・コンクリートを中心に金属材料・木材などの諸性質について解説する				
到達目標	木材、セメント・骨材・コンクリート、鉄筋、石、ガラスなどの特性・品質・形状・機能など基礎知識を習得し、建築用途に合致したものを選定すると同時に外部・内部空間を構成するエレメントの概要を習得する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	木材の特徴と種類。			2
	2	木材の性質、合板(ベニヤ)・集成材、エンジニアリングウッド(加工木材)①			2
	3	木材の性質、合板(ベニヤ)・集成材、エンジニアリングウッド(加工木材)②			2
	4	壁下地材の特徴と種類 ・軽天間仕切及び木間仕切(骨組み材・貼り材)			2
	5	木質系ボードの特徴と種類			2
	6	セメント・コンクリート①:コンクリートの特徴と種類、コンクリートの調合。			2
	7	セメント・コンクリート②:コンクリートの混和材料、コンクリートの物性、施工と養生。			2
	8	セメント・コンクリート③:コンクリート二次製品(プレキャストコンクリート、プレストレスコンクリート、CB)			2
	9	鋼材の特徴及び腐食・その他の金属材料			2
	10	石材:特徴と種類			2
	11	ガラス・タイル:特徴と種類、施工方法			2
	12	高分子系材料・塗料:材料と種類			2
	13	左官材料:材料と種類			2
	14	ボード類:石膏系			2
	15	ボード類、その他断熱材:セメント系			2
	16	※授業の進捗状況、学生の理解度等を考慮し余裕が見受けられたら			
	17	建材を取り扱っている企業へのショールーム見学を実施			
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	合計時間数				30
教科書	図説 やさしい建築材料(学芸出版社)、 参考文献【マテリアルデザイン 建築の素材・材料チェックリスト・ディテール(彰国社)・「図説 やさしい一般構造」(学芸出版社)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率5%、期末テスト80%、授業取り組み15%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	基礎製図演習	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	建築製図の基礎的演習として各種建築図面の手描きトレースを行い、作図スキルを磨く。				
到達目標	①建築・インテリア空間の立体物(3次元)から平面(2次元)の設計図面に的確に表現するための操作や鉛筆で線を引くという設計図面の作図上の約束事を学ぶ。 ②図面を読む、図面で話すことを常に意識させ手で描写する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	製図の目的と製図用具の説明、設計図面の種類の説明、線と設計図面との関係、製図の技法:線の引き方、線の練習			3
	2	①線の練習 一平行線と斜め線 ②線の練習 一円と直線の組み合わせ			3
	3	③開口部の表示記号 一出入り口・窓の図面表現			3
	4	③開口部の表示記号 一出入り口・窓の図面表現 S=1/100			3
	5	④木造住宅1階平面図 S=1/100 トレース			3
	6	④木造住宅1階平面図 S=1/100 トレース			3
	7	⑤木造住宅断面図・立面図 S=1/100 トレース			3
	8	⑤RC住宅1階平面図 S=1/100 トレース			3
	9	⑤RC住宅平面図断面図・立面図 S=1/100 トレース			3
	10	⑤RC住宅平面図断面図・立面図 S=1/100 トレース			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	合計時間数				30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。 参考文献【新しい建築製図(美術出版)、初めての建築製図(学芸出版社)、建築製図演習教本(彰国社)、建築設計演習 基礎演習(彰国社)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:30%、課題提出:60%、授業態度:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	建築CAD演習 I	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	各種基本設計図面のCAD操作を実習指導する。				
到達目標	2次元CADによる基礎操作、パソコン操作に慣れ操作する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:授業内容、(CADの基本操作(1)=作図環境、2次元図形の基本的作図、作図コマンドと編集コマンドの基本操作1:直線・矩形・コーナー・包絡・複線)			3
	2	作図コマンドと編集コマンドの基本操作2:線種変更、レイヤ変更、線角・鉛角			3
	3	作図コマンドと編集コマンドの基本操作3:基点変更・一括処理(伸縮、消去)			3
	4	作図コマンドと編集コマンドの基本操作4:線色分け、円・円弧・面取り			3
	5	作図コマンドと編集コマンドの基本操作の復習			3
	6	作図コマンドと編集コマンドの基本操作の復習			3
	7	作図コマンドと編集コマンドの基本操作の復習			3
	8	実際の図面を作図①:住宅平面図			3
	9	実際の図面を作図①:住宅平面図			3
	10	実際の図面を作図①:住宅平面図			3
	11	実際の図面を作図②:住宅平面図			5
	12	実際の図面を作図②:住宅平面図			5
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				40
教科書	特になし。 参考文献【やさしく学ぶJw-cad7(エクснаレッジ)・やさしく学ぶJw-cad☆デラックス(エクснаレッジ)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:80%、授業態度:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	建築CAD演習 II	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	各種基本設計図面のCAD操作、図面表現を実習指導する。				
到達目標	建築設計図書内の特に、RC造(S=1/100)から平面詳細図、立面図などに展開するために必要となる「実施設計」の図面作成技術をCADを利用して描写する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:建設現場に必要な実施設計図面の概要説明。			3
	2	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ①			3
	3	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ①			3
	4	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ②			3
	5	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ②			3
	6	断面を考え、断面図を理解する			3
	7	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ①			3
	8	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ①②			3
	9	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ②			3
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				27
教科書	特になし。 参考文献【やさしく学ぶJw-cad7(エクснаレッジ)・やさしく学ぶJw-cad☆デラックス(エクснаレッジ)・建築CAD検定試験問題集(一般社団法人全国建築CAD連盟)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:80%、授業態度:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	設計演習 I	担当者	比嘉 健矢・新垣 弘志	科目必修区分	必修
授業概要	建築設計の第一歩である最も身近な建築である「住宅・別荘」「店舗」の設計課題に取り込む。				
到達目標	小規模建築物、店舗の設計手法、図面化や自分の考えをまとめてプレゼンテーションする能力を養い、更には計画地周辺環境を把握し、自分が意図する建築空間を設計し、その基本的な図面等で表現する。手順を追って設計し、スケジュール感覚と提出期限を厳守できる習慣を身につける。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	課題オリエンテーション:「住宅」の設計課題について、課題目的・設計条件・必要諸室・要求図面などの説明。 スタディ模型(検討用模型)の制作:スチレンボードより外観模型制作			8
	2	設計主旨についてのエスキース			8
	3	平面計画についてのエスキースと平面図清書①			6
	4	平面計画についてのエスキースと平面図清書②			5
	5	断面計画についてのエスキースと断面図清書①			5
	6	断面計画についてのエスキースと断面図清書②			5
	7	平面図・立面図・断面図の着色とプレゼンテーションの準備			5
	8	平面図・立面図・断面図の着色とプレゼンテーションの準備			5
	9	平面図・立面図・断面図の着色とプレゼンテーションの準備			5
	10	プレゼンテーション			8
	11	課題オリエンテーション:「店舗」の設計課題について、目的・設計条件・要求図面の説明。テーマ・コンセプト作成			8
	12	テーマ・コンセプトに基づくエスキース			8
	13	平面計画についてのエスキースと平面図清書①			9
	14	平面計画についてのエスキースと平面図清書②			9
	15	室内・ファサード計画についてのエスキースと清書①			9
	16	室内・ファサードの透視図作成			9
	17	透視図の着色とプレゼンテーションの準備			9
	18	プレゼンテーション			5
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	合計時間数				126
教科書	教務作成の設計データなどを含む資料を配布・製本化したマニュアル冊子をテキストとして使用し解説を加える。				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:20%、課題提出:60%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	設計演習 II	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	店舗兼住宅として公共性の要素を含んだ建築物の設計課題に取り込む。				
到達目標	一連の住宅設計、店舗設計の学習を通して、人間の生活行為と街とのつながり(公共性)との関係性を再定義し設計する。更に設計図面化の能力を向上させ、設計意図(コンセプト)と基本図面が合致し、最終的に自ら設計した建築物の必要十分な図面表現や模型制作を含め発表する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	課題オリエンテーション:課題目的・設計条件・必要諸室・要求図面などの説明、計画地現地調査・敷地調査報告書			11
	2	設計コンセプト/建築的手法概要オリテ/エスキース1の作成:平面を中心とした概略エスキースを作成する			8
	3	エスキース1:平面を中心とした概略エスキースを作成する。			8
	4	エスキース2:機能的処理(動線計画)を中心としたエスキースを作成し、空間チェックも含め個別指導する。			8
	5	エスキース3:平面計画と合致した検討用の模型制作(スタディ模型制作)、立面エスキースの作成			8
	6	エスキース4:スタディ模型と照合しながらの断面エスキース①			8
	7	各階平面図の清書			8
	8	立面図清書 断面図清書			8
	9	完成予想CAD入力表現			8
	10	完成予想CAD入力表現			8
	11	完成予想模型製作 ①			8
	12	完成予想模型製作 ②			8
	13	プレゼンボード制作			8
	14	プレゼンテーション			8
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	合計時間数				115
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	図学(ドローイング)	担当者	新垣 弘志	科目必修区分	必修
授業概要	鉛筆による立体描写に始まり、平面図・立面図・展開図からパースラインを意識した透視図の簡略図法(M点法)、2消点簡略図法そして着色トレーニングを課題とする				
到達目標	フリーハンド立方体描写により、1消点、2消点と鉛筆の表現方法を習得し、内観図＝平面図、展開図、天井伏図よりM点法のパースを理解すると同時に外観図＝平面、立面、断面図より外観2消点簡略法を学ぶ。また内観透視図と外観透視図着色技法(色鉛筆、マーカー)を学ぶことにより、物体の形態、陰影、質感に留意し描写力を高め、頭に浮かんだイメージを実際にパースラインを意識した立体構想力を養うことを目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	鉛筆による立方体の描写、視点の違いによる立方体の作図			3
	2	5つの立方体によるフリーハンド表現(1消点、2消点)			3
	3	簡略図法(M点法・1消点)基本作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"①			3
	4	簡略図法(M点法・1消点)基本作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"②			3
	5	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"③			3
	6	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"添景作図"			3
	7	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"着色			3
	8	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"着色			3
	9	2消点基本図法からM点法2消点基本図形作図①			3
	10	2消点基本図法からM点法2消点基本図形作図②			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	合計時間数				30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。 参考文献【「現代パースの基本と実際」株式会社 グラフィック社】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:80%、授業態度:10%				
担当詳細		備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	色彩学	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	人は生活をより快適に過ごすために、「色彩」が果たす役割は非常に大きなものがあり、その重要な色彩を自在に使うには知識と技術が必要である。色彩感覚に自信がないひとでも、配色や色の持つ固有のイメージや、補色や同系色といった組み合わせの理論を知ると色を選ぶ決断が容易になる。				
到達目標	①配色を理解し生活をより快適に過ごすためのインテリアコーディネートに応用する。 ②景観に配慮した建築色彩を表現する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	色彩の導入演習課題配布説明			2
	2	第1章光り成り立ち第2章混色			2
	3	第2章色の表示方法第4章 色の知覚的效果			2
	4	第4章色の心理的效果第6章 色彩調和			2
	5	第5章色の心理的效果			2
	6	第6章色彩調和			2
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				12
教科書	Color Master BASIC 【色彩士検定委員会】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率5%、期末テスト80%、授業取り組み10%、演習ボード5%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	モデリング	担当者	内間 直樹	科目必修区分	必修
授業概要	平面的表現である図面を読み取り、立体的な表現方法にし、空間を想像する。 各種材料の利用方法とそれらの加工をする用具の使用技術をみにつける。 模型の目的別、範囲別の種類(スタディ、外観、インテリア、外構、軸組)を知る				
到達目標	2次元の図面に描かれた空間や立体物を読み取り、より正確にきれいに思い通りの立体物として作成する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	生徒各自の道具確認(有・無・破損)と説明、授業概要の説明			3
	2	2次元の読み方、スチレンボードを使用して基礎練習(切る、貼る、曲げる)			3
	3	〃 (直方体 作成)			3
	4	〃 (L型直方体 作成1)			3
	5	入り隅について具体的説明と図面の読み方への理解(L型直方体 作成2)			3
	6	実践 1/100 住宅模型 制作			3
	7	〃			3
	8	〃			3
	9	〃			3
	10	〃			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	インテリア計画	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	演習を交えながら、実践的に必要な室内空間演出のスキルを身につけると同時に、チームビルディングを構築する。				
到達目標	①インテリアエレメントを理解し、コンセプトメイキングで考え方や方向性を言葉とビジュアル(写真やスケッチ)で表現できる。 ②空間演出という規模の作品を制作することで、個人としてもチームとしても目標を達成する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	インテリアデザイナーの分類、業務・寸法の計画、人体寸法と人間工学			5
	2	ディスプレイデザイン案だし			5
	3	見積書・企画書作成			5
	4	ディスプレイ制作			5
	5	ディスプレイ制作			5
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				25
教科書	実践につながるインテリアデザインの基本【学芸出版】、教務作成の課題指示書を学生配布対応				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:20%、課題提出:40%、授業態度:40%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	色彩士検定対策	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	色彩学で学んだ知識を色彩士検定3級で理解度を位置づける。				
到達目標	アデック主催の色彩士検定3級の合格で理解度を証明する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	過去問題① 解答・解説			5
	2	過去問題② 解答・解説			5
	3	過去問題④ 解答・解説、模擬テスト			5
	4	過去問題⑤ 解答・解説、模擬テスト			5
	5	模擬テスト解説・合格のポイント			5
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				25
教科書	色彩士検定過去問題集				
時間外学習					
成績評価方法	出席率5%、模擬テスト80%、授業取り組み15%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	グラフィックデザイン演習 I	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	illustrator、Photoshopなどのグラフィックアプリケーションの基本操作を習得し、写真加工、レイアウトの基礎を学ぶ。				
到達目標	・基本的な操作ができるようになり、その他作品のプレゼンテーション資料制作に活かす。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	illustrator基本操作・各種ツールの使い方			3
	2	illustrator基本操作・各種ツールの使い方			3
	3	illustrator基本操作・レイアウト基礎			3
	4	illustrator基本操作・レイアウト基礎・課題提出①			3
	5	Photoshop基本操作・各種ツールの使い方			3
	6	Photoshop基本操作・各種ツールの使い方・課題提出			3
	7	Photoshop基本操作・写真や画像の加工・課題提出②			3
	8	名刺作成 課題提出③			3
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				24
教科書	適宜、参考資料を配布				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:15%、課題提出:70%、授業態度:15%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	発想トレーニング I	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	頭と指で考える課題として毎週住宅模型をデザインし、プレゼンテーションを行う。コンセプト立案、造形、発表の手順を繰り返し経験し、今後の作品制作に活かす。				
到達目標					
授業計画	内 容				授業時間数
	1	課題概要の説明、課題発表、模型制作			2
	2	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	3	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	4	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	5	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	6	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	7	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	8	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	9	プレゼンテーション、次回課題発表			2
	10	プレゼンテーション			2
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				20
教科書	適宜、参考資料を配布				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、授業態度:20%、課題・発表評価:70%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	3次元CAD	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	2D-CADソフト, JW-CADの基本的な使用法を理解した後、更に表現力を高めるために3DCADソフト, Vector Worksを用いて3次元モデリング方の基礎を理解し, 簡単なインテリア空間3Dモデルを作成できるようになる。また, 2年次設計課題に技法を取り入れ3次元設計 (BIM) へ繋げる。				
到達目標	①Vectorworks操作を理解ができ, 2次元から3次元に起こすことができる。 ②テクスチャーを設定ができる ③レンダリングで光源設定を理解し, プレゼンテーション表現ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	Vectorworksの概要と作業環境について 図形描画と加工編集			3
	2	作図の基礎ドリル101~121			3
	3	ドリル122課題/7つの図形【提出】			3
	4	第2章製図の基礎ドリル202~213			3
	5	店舗設ドリル217/方眼を描く【提出】			3
	6	第3章効率的な作図			3
	7	第4章3Dモデリング			3
	8	外部講師A&A特別授業			3
	9	店舗什器の作図(オリジナル作品)			3
	10	プレゼンシート作成			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	合計時間数				30
教科書	Vectorworksパーフェクトバイブル 2018/2017対応, CADリテラシー演習				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:80%、授業態度:10%				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	家具制作	担当者	新福 真樹	科目必修区分	必修
授業概要	前期設計課題の住宅設計やインテリア計画で空間寸法を学んだ知識を実寸の家具制作に落とし込む。家具を設計することで、インテリア空間を読み取る考察力を身につける。				
到達目標	現在、家具や建具の仕上げで主流となっているポリ合板やデコラなどを使った家具制作の構造や製作手順を学ぶ。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目オリエンテーション 工具の使い方について			3
	2	家具制作			3
	3	家具制作			3
	4	家具制作			3
	5	家具制作			3
	6	家具制作			3
	7	家具制作			3
	8	家具制作・仕上げ			3
	9	家具制作・仕上げ			3
	10	家具制作・仕上げ			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応				
時間外学習					
成績評価方法	教務作成の課題指示書を学生配布対応				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	デザインコンプ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	作品発表の場であるデザインコンプの企画運営(展示、物販、ワークショップ)。自己プロデュースの場として、作品を発表しつつ業界へアピールを行う。				
到達目標	グループでイベントの企画運営を通して、チームワークを身につける。展示や小物雑貨の企画、デザイン力を磨く。自分の名刺とポートフォリオを使用して、来場者へ作品の説明を行う。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	デザインコンプ導入			6
	2	デザインコンプ準備			13
	3	デザインコンプ準備			25
	4	デザインコンプ準備			15
	5	搬入			14
	6	デザインコンプ1日目			6
	7	デザインコンプ2日目			6
	8	デザインコンプ3日目			6
	9	搬出			6
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				97
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席率80%、授業態度20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	特別授業	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	デザイン思考を認識する。 他分野・同分野の意見を取り入れ物事の考え方や考えるプロセスを考察する。 他の意見の価値を認める。				
到達目標	デザイン思考を通してDESIGNCOMPに向けて全学年で取り組みを行う。 主に共感・問題定義・創造・プロトタイプ・テストの5つの段階を経験・体感し、 DESIGNCOMPにて学生主体で行動することができる。 2年次・3年次はリーダーシップや責任感を意識し他のメンバーと協力する。 1年次は他者の意見を受け入れ、発言をしコミュニケーションを取る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			41
	2	新入生球技大会			6
	3	デザイン思考導入（導入1h／グループワーク分け）			2
	4	デザイン思考導入（コンセンサスワーク）			2
	5	デザイン思考A（導入）			2
	6	デザイン思考A（ワーク）			2
	7	デザイン思考A_発表と共有			2
	8	デザイン思考B（導入）			2
	9	デザイン思考B（ワーク）			2
	10	デザイン思考B（ワーク）			2
	11	デザイン思考B（発表）			2
	12	デザイン思考C（導入）			2
	13	デザイン思考C（ワーク）			2
	14	デザイン思考C（ワーク）			2
	15	デザイン思考C（発表）			2
	16	デザイン思考の振り返り			2
	17	DESIGNCOMPチーム構築／チームでのワーク			18
	18	始業式、就業日			15
	19	知的財産権講座			4
	20	火災、津波訓練、健康診断、クラス交流会			12
	21	就職実務			7
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				131
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席率50%、提出課題30%、学習態度10%、課題発表10%				
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101		
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	建築法規	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築基準法で規制される諸規定・規準を理解し定義、法文の正しい読み方が理解できる				
到達目標	住居や商業施設・その他文化施設に関する建築物の法の規則、基準などについて学びその理論と運用について理解する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建築法規の体系と用語について(用語の定義・面積・高さ・階数の算出)			2
	2	建築法規の体系と用語について(用語の定義・面積・高さ・階数の算出)			2
	3	単体規定(天井高さ・階段・避難)			2
	4	単体規定(採光・換気)			2
	5	単体規定(採光・換気)			2
	6	単体規定(耐火建築物)			2
	7	単体規定(防火区画)			2
	8	単体規定(防火区画)			2
	9	集団規定・都市計画(道路・敷地・用途地域)			2
	10	集団規定・都市計画(道路・敷地・用途地域)			2
	11	集団規定・都市計画(建ぺい率・容積率)			2
	12	集団規定・都市計画(建ぺい率・容積率)			2
	13	集団規定(建物高さ)			2
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				26
教科書	やさしい建築法規(学芸出版社)・建築基準法関係法令集(建築資料研究社) 参考文献【建築法規用教材(日本建築学会) イラストでわかる建築基準法(株式会社 ナツメ社)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率10%、期末テスト80%、授業取り組み10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築設備	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	電気設備、給排水・衛生設備、空気調和設備、防災設備、搬送設備等テキスト及び実物の見学も含め学習する。				
到達目標	1年次の環境学を踏まえ、建築空間の制御を行う建築設備全般について学ぶと同時に建築空間と建築設備との調和の取れた計画・設計の基礎知識を理解する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建築設備の基礎事項。エネルギー利用技術			2
	2	給排水衛生設備: 給水、給湯設備			2
	3	給排水衛生設備: 排水、通気システム			2
	4	給排水衛生設備: 衛生設備器具、雨水排水システム、ガス設備、浄化槽			2
	5	空気調和設備: 空気設備の歴史、空調設備計画、空調方式			2
	6	空気調和設備: 換気、ヒートポンプ、タスク・アンビエント空調			2
	7	空気調和設備: 住宅設備、設備更新			2
	8	電気設備: 電気設備の概要、照明、防災設備			2
	9	電気設備: 受変電設備、幹線・配線設備、予備電源、照明器具			2
	10	電気設備: 搬送設備 (エレベーター・エスカレーター・ダムウエーター)			2
	11	防災設備: 感知通報、消火、避難誘導設備			2
	12	エネルギーシステムについて			2
	13	太陽光発電システム、風力発電			2
	14	設備の保全・維持管理について			2
	15	設備の保全・維持管理について			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				30
教科書	「図説 やさしい建築設備」: 学芸出版社				
時間外学習					
成績評価方法	出席率10%、期末テスト80%、授業取り組み10%				
担当詳細	実務家	備考			
	実務経験紹介		1991年4月～2011年3月 (有)イクセル建築設計事務所		

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	構造力学 I	担当者	上原 利公	科目必修区分	必修
授業概要	構造力学の基礎、断面の性質、建築構造物を合理的かつ経済的に設計するための基礎となる力学について講述する。				
到達目標	1)力のつりあいと荷重の種類を理解し、建物に作用する応力(ストレス)を理解する。 2)応力を理解して応力図の作成				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	自己紹介 (講師・生徒) 構造力学に必要な算術計算	(Text p. 8~14)	2	
	2	力の基礎・力の釣り合い	(Text p. 16~38)	2	
	3	力の基礎・力の釣り合い	(Text p. 16~38)	2	
	4	反力:構造物の分類と表現 単純梁の反力	(Text p. 40~55)	2	
	5	片持ち梁の反力	(Text p. 40~55)	2	
	6	ラーメンの反力	(Text p. 40~55)	2	
	7	中間テスト	(Text p. 16~55)	2	
	8	部材に生じる力(基礎編)	(Text p. 58~80)	2	
	9	部材に生じる力(基礎編)	(Text p. 58~80)	2	
	10	部材に生じる力(応用編)	(Text p. 81~110)	2	
	11	部材に生じる力(応用編)	(Text p. 81~110)	2	
	12	静定トラス/切断法	(Text p. 112~116)	2	
	13	静定トラス/節点法	(Text p. 117~121)	2	
	14	静定トラス/図解法	(Text p. 122~126)	2	
	15	期末テスト		2	
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数			30	
教科書	「図説やさしい構造力学」 学芸出版社				
時間外学習					
成績評価方法	出席率15%、授業取り組み15%、中間テスト35%、期末テスト35%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築施工	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築物の構築の流れ、設計監理としての確認事項等を理解する。				
到達目標	建築物が契約から一定の期間内に完成するまでの過程において、基本的な用語や施工方法、技術に基づいて完成していくのかを系統的に学び、建築施工の基本的事項を述べる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	総論 建築主、設計者、施工者、契約、請負、施工管理、施工計画、躯体工事などの建築施工の全体の流れなどを概説する。			2
	2	入札方法、契約方法など請負の流れについて			2
	3	積算について(工事費の内訳、積算拾い出しの種類)			2
	4	現地調査、施工計画書、工程表の作成・種類			2
	5	施工管理、安全衛生管理体制、作業主任者			2
	6	地盤調査、仮設工事			2
	7	土工事			2
	8	基礎・杭工事			2
	9	鉄筋コンクリート工事			2
	10	型枠工事			2
	11	コンクリート工事			2
	12	コンクリートの欠陥			2
	13	プレキャストコンクリート工事			2
	14	解体工事			2
	15	鉄骨工事			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				30
教科書	「図説 やさしい建築施工」 学芸出版				
時間外学習					
成績評価方法	出席率10%、期末テスト80%、授業取り組み10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	西洋・日本建築史	担当者	新垣 弘志	科目必修区分	必修
授業概要	西洋建築様式の形態的特徴や美術・宗教・生活・政治・地理等との関わり、及び日本建築の造り、特徴など、テキスト及び映像を使い講述。				
到達目標	各時代の各地域の様式的な特徴を理解し、建築作品の様式的な判別が出来ることを目指す。また、各様式建築の空間構成の特質や、用途、機能や構造条件を満たすそれぞれの時代、地域の技術的な特色を理解する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ギリシャ建築: 古代ギリシャの神殿建築および公共的建築			2
	2	美の構成要素: 自然界、古代から現在のデザインまで/黄金比、白銀比			2
	3	古代ローマの歴史と建築概要、諸様相			2
	4	初期キリスト教建築とビザンチン建築			2
	5	ロマネスク建築の空間構成の特徴			2
	6	ゴシック時代の空間構成の特徴①			2
	7	ゴシック時代の空間構成の特徴② ルネッサンス建築の空間構成の特徴①			2
	8	ルネッサンス建築の空間構成の特徴②			2
	9	バロック建築の空間構成の特徴			2
	10	新古典主義の建築、歴史主義建築			2
	11	古代の日本建築 ①古墳時代の住居、飛鳥奈良時代の寺院、平安時代の寺院			2
	12	古代の日本建築 ②奈良平安時代の神社/宮殿と都城・寝殿造			2
	13	中世の日本建築/大仏様、禅宗様、折衷様の建築/座敷の成立/民家			2
	14	近世の日本建築 ①城郭建築/書院造/茶室/数寄屋風書院			2
	15	近世の日本建築②寺院/神社/民家/学校・大店・劇場・遊郭			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	合計時間数				30
教科書	「図説 建築の歴史 西洋・日本・近代」:学芸出版社 参考文献【「西洋建築様式史」:美術出版社】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率10%、期末テスト80%、授業取り組み10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	建築計画 I	担当者	内間 直樹	科目必修区分	必修
授業概要	住宅建築設計の居住空間において、人間が安全で快適に過ごすための動線計画から、空間構成、形態、利用者心理、環境配慮といった基礎を学ぶ。				
到達目標	計画の考察や方法・進め方があることを学び、計画の基礎的な事項を述べる。 住宅設計課題の計画時に応用する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建築計画とデザインについて(※一部 気候について)			2
	2	"			2
	3	"			2
	4	建築計画の基本知識(寸法・空間・モジュール)			2
	5	"			2
	6	"			2
	7	各部および単位空間の計画			2
	8	"			2
	9	独立住宅の計画			2
	10	"			2
	11	"			2
	12	集合住宅の計画			2
	13	"			2
	14	"			2
	15	過去の改装工事をプロジェクターで見せる。			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率15%、期末テスト40%、授業取り組み40%,確認テスト5%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	設計演習Ⅲ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築設計の基礎的手法を知り、更に動線計画といった計画的領域から、空間構成、形態、利用者心理、環境配慮といった設計方針に至る一連の作業を考察する。				
到達目標	共同住宅、商業施設、事務所ビル、宿泊施設などの各種建築物の計画について、機能・構造、設備の基本的諸要因と計画方法を踏まえ、地域社会や利用する目線になってグループで役割を分担しながら円滑に設計を描写する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建築計画演習のオリエンテーション・現地調査			10
	2	敷地調査及び市場調査			10
	3	平面エスキース			8
	4	各階平面図作図			18
	5	断面図・立面図作図			25
	6	配置図兼屋根伏せ図作図			15
	7	平面図・断面図・展開図及びスケッチパースにてプレゼンテーション			6
	8	模型制作又は3DCG作図			22
	9	プレゼンボード作成			22
	10	プレゼンテーションボード及びパワーポイントにて発表と審査講評			6
	11	※地域を限定し環境を踏まえ提案していく授業展開もあり			
	12	校外実習的な動きも出てくる			
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	合計時間数				142
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	建築CAD演習 III	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	パソコンを利用し、各種基本設計図面のCAD操作を実習指導する。				
到達目標	RC造に関する平面詳細、立面図など「実施設計」の図面作成技術をCADを利用して描写する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ①			6
	2	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ①			5
	3	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ②			5
	4	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ②			4
	5	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ③			6
	6	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ③			5
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				31
教科書	参考文献【やさしく学ぶJw-cad7(エクснаレッジ)・やさしく学ぶJw-cad☆デラックス(エクснаレッジ)・建築CAD検定試験問題集(一般社団法人全国建築CAD連盟)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	設計演習Ⅳ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	2年間の学習成果として、自らテーマを設け自然環境、都市的環境、歴史的背景などを読み取り地域社会に見あったより公共性を高めた設計行為を考察する。				
到達目標	①市場調査、敷地調査から分析・推論し仮説を立てる。 ②構造を主に鉄筋コンクリート造で可能な空間を原則として、技術・知識を述べる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建築計画演習のオリエンテーション・現地調査			10
	2	敷地調査及び市場調査			10
	3	平面エスキース			8
	4	各階平面図作図			15
	5	断面図・立面図作図			25
	6	配置図兼屋根伏せ図作図			10
	7	平面図・断面図・展開図及びスケッチパースにてプレゼンテーション			10
	8	模型制作又は3DCG作図			10
	9	プレゼンボード作成			10
	10	※地域を限定し環境を踏まえ提案していく授業展開もあり			
	11	校外実習的な動きも出てくる			
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				108
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	BIM演習 I	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	Vetorworksソフトを使い2次元から3次元の作図する。BIMの特徴である図面からモデリングの視覚化の表現を身につける。				
到達目標	①建築講義や設計などの表現手法として応用できる。 ②BIM基本用語を理解する(BIM利用技術者試験2級レベル)				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	BIMについて			3
	2	基本操作			3
	3	A&A講習			3
	4	BIM用語(2級試験内容)			3
	5	応用編(住吉の長屋)作図			3
	6	応用編(住吉の長屋)作図			3
	7	提出(住吉の長屋)作図			3
	8	提出(住吉の長屋)作図			3
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				24
教科書	Vectorworksパーフェクトバイブル 2018/2017対応A&ABIM演習				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	インテリアコーディネーター試験対策	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	講義で習得した知識を、実践に即した形でアウトプットする答練講義。講義でインプットした後に行うことで、解答力を養成することができます。習得した知識を定着させ、あらゆる問題に対応できる力を身につけます。				
到達目標	①建築家・インテリアデザイナーの社会における立場を述べる。 ②自分作品に対しての姿勢を心構える。 ③インテリアコーディネーター1次合格				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	インテリア販売(インテリアコーディネーターの職能・職域/販売実務)			1.5
	2	インテリアの歴史(日本の歴史・西洋の歴史)			1.5
	3	インテリアの計画①(人間工学・寸法計画/住居空間の設計)			1.5
	4	インテリアの計画②(住居空間の設計/健康・安全のための計画/バリアフリーのための計画)			1.5
	5	色彩と造形			1.5
	6	家具①(家具の種類と機能/家具の材料と金物)			1.5
	7	家具②(家具の構造/家具の塗料)			1.5
	8	ウインドウトリートメント			1.5
	9	各種エレメント			1.5
	10	構造・構法①(建築の一般構造)			1.5
	11	構造・構法②(下地と仕上げ)			1.5
	12	構造・構法③(造作/建具)			1.5
	13	材料①(木材/金属材料/コンクリート)			1.5
	14	材料②(陶磁器・煉瓦/ガラス・プラスチック建材/石材・左官材料/塗料/カーペット・畳/壁紙)			1.5
	15	環境工学①(熱と湿気/換気と通風)			1.5
	16	環境工学②(音環境/光環境)			1.5
	17	住宅設備①(冷暖房・空調設備/給排水設備)			1.5
	18	住宅設備②(電気設備/サニタリーの設備機器/キッチンの設備機器)			1.5
	19	照明(照明の基礎/照明器具と照明計画)			1.5
	20	表現技法(設計図書の基本事項/インテリアの図面)			1.5
	21	建築関連法規(建築基準法/その他の建築関連法規)			1.5
	22	消費生活関連法規(消費者関連法規/その他のインテリア製品関連法規)			1.5
	23	確認テスト			2.5
	24	確認テスト			2.5
	25	過去問試験			3
	26	模擬試験①			3
	27	模擬試験②			3
	28	模擬試験③			3
	合計時間数				50
教科書	株式会社 建築資料研究所 日建学院 インテリアコーディネーター1次対策講座 上巻・下巻				
時間外学習					
成績評価方法	出席率20%、授業取り組み60%、確認テスト20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	実習	講義時期	通年
授業科目	インテリアコーディネート演習	担当者	前海佐季子	科目必修区分	必修
授業概要	インテリアコーディネーターとは何の為にいるのか？コーディネーターにとって大切な心構えや知識を学ぶ。空間は人の心理に大きく関係すること、この仕事の価値・重要性も伝えていく。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリアコーディネーターとは何の為にいるのか？インテリアコーディネートの意味を理解する。 ・インテリアを構成する要素、概要をつかむ。 ・インテリアコーディネートの流れ、各エレメントの使い方を理解する。 ・自分の興味、追求したいインテリアエレメントを発見する。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	インテリアコーディネーターとは？何の為にいるのか？重要性			2
	2	空間が人の脳や心に及ぼす影響を知ろう（空間と心理の関係）			2
	3	インテリアスタイルを知る。流行りや自分の好きな暮らし・スタイルを知る			2
	4	ワーク:自分が好きな素敵な部屋をつくってみよう（要望の引き出し方）			2
	5	ワーク:自分が好きな素敵な部屋をつくってみよう（ビジュアル化の仕方）			2
	6	カラーコーディネートの基本を学ぼう（カラー心理含む）			2
	7	カラーコーディネートの基本を学ぼう（ワーク・発表）			2
	8	部屋・インテリアづくりの基本要素を学ぼう（内装材）			2
	9	部屋・インテリアづくりの基本要素を学ぼう（照明）			2
	10	現物を見る。ショールームの使い方、見方を学ぶ（パナソニックSR）			2
	11	部屋・インテリアづくりの基本要素を学ぼう（ウィンドウトリートメント）			2
	12	部屋別インテリアのポイントを学ぼう（パブリック・プライベート空間）			2
	13	モデルハウス見学（設計・コーディネートコンセプト）を学ぶ（移動あり）			2
	14	家具と収納計画・片づけの心理			2
	15	家具と収納計画・片づけの心理			2
	16	ワーク:顧客から要望を引き出す方法・要望をまとめる方法を学ぼう			2
	17	ワーク:顧客への説明・プレゼン提案の方法を学ぼう			2
	18	ショールームか、現場見学（移動あり）			2
	19	プレゼンワーク（学生同士ペアになりヒアリング・要望をまとめる）			2
	20	プレゼンワーク（学生同士ペアになりヒアリング・要望をまとめる）			2
	21	プレゼンボード作成			2
	22	プレゼンボード作成			2
	23	発表			2
	24	発表			2
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				48
教科書	「やさしいインテリアコーディネート」学芸出版社				
時間外学習					
成績評価方法	出席率20%、授業態度20%、提出物30%、プレゼン30%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	グラフィックデザイン演習Ⅱ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	illustrator、Photoshopなどを使用して、より魅力的な表現にするための応用スキルを身に付ける。その他ロゴマークなどのグラフィックデザイン表現の幅を広げる。				
到達目標	・自分で制作した模型・イラストなどの素材をパソコン上でグラフィカルにまとめるスキルを身に付ける。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	illustrator、Photoshop操作方法おさらい			2
	2	Photoshopによるパース着色、レタッチ			2
	3	Photoshopによるパース着色、レタッチ			2
	4	Photoshopによるパース着色、レタッチ			2
	5	illustratorによるペンツール操作			2
	6	illustratorによるペンツール操作			2
	7	illustratorによるペンツール操作			2
	8	オリジナルロゴマークデザイン作成			2
	9	オリジナルロゴマークデザイン作成			2
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				18
教科書	適宜、参考資料を配布				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:15%、課題提出:70%、授業態度:15%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	リフォーム学	担当者	照屋寛公	科目必修区分	必修
授業概要	<p>リフォーム建築は、その原因を幾通りかに区分できる。その原因を探求することは、実は新築の建築設計にも役にたつ。授業ではリフォーム建築のビフォーアフターの事例をスライドで確認した後、実例で設計演習を経験してもらう。また敷地周辺の身近な地域環境を知ること、そして地域の風土・文化に興味を持つこともコンセプトの組み立てに重要。世界の人々がその地域の文化を生かしどのように建築を創って来たかを探求していきたい。</p>				
到達目標	<p>①沖縄の気候風土を理解する ②快適に住まう建築の手法を学ぶ ③永く住み続けられる建築の大切さを学ぶ ④世界各地の暮らし文化からどのように建築を創ってきたかを学ぶ</p>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	2	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	3	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	4	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	5	リフォーム、新築の事例と風土文化・演習①課題説明			2
	6	演習①・発表(11名)			2
	7	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	8	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	9	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	10	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	11	リフォーム、新築の事例と風土文化・演習②課題説明			2
	12	演習②・発表(11名)			2
	13	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	14	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	15	総括講義			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	合計時間数				30
教科書	『記憶を刻む家づくり』(照屋寛公著・ボーダーインク刊)				
時間外学習					
成績評価方法	出席率20%、授業態度20%、授業レポート30%、演習発表30%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	デザインコンプ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	作品発表の場であるデザインコンプの企画運営。 展示作品の演出(ディスプレイ)、ワークショップや販売ブースの企画運営を行う。				
到達目標	グループでイベントの企画運営を通して、チームワークを身につける。 展示や小物雑貨の企画、デザイン力を磨く。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	デザインコンプ導入・準備			10
	2	デザインコンプ準備			15
	3	デザインコンプ準備			30
	4	デザインコンプ準備			12
	5	デザインコンプ準備・搬入			12
	6	デザインコンプ1日目			6
	7	デザインコンプ2日目			6
	8	デザインコンプ3日目			6
	9	搬出			6
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				103
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席率80%、授業態度20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	特別授業	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	デザイン思考を認識する。 他分野・同分野の意見を取り入れ物事の考え方や考えるプロセスを考察する。 他の意見の価値を認める。				
到達目標	デザイン思考を通してDESIGNCOMPに向けて全学年で取り組みを行う。 主に共感・問題定義・創造・プロトタイプ・テストの5つの段階を経験・体感し、 DESIGNCOMPにて学生主体で行動することができる。 2年次・3年次はリーダーシップや責任感を意識し他のメンバーと協力する。 1年次は他者の意見を受け入れ、発言をしコミュニケーションを取る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			15
	2	新入生球技大会			6
	3	デザイン思考導入（導入1h／グループワーク分け）			2
	4	デザイン思考導入（コンセンサスワーク）			2
	5	デザイン思考A（導入）			2
	6	デザイン思考A（ワーク）			2
	7	デザイン思考A_発表と共有			2
	8	デザイン思考B（導入）			2
	9	デザイン思考B（ワーク）			2
	10	デザイン思考B（ワーク）			2
	11	デザイン思考B（発表）			2
	12	デザイン思考C（導入）			2
	13	デザイン思考C（ワーク）			2
	14	デザイン思考C（ワーク）			2
	15	デザイン思考C（発表）			2
	16	デザイン思考の振り返り			2
	17	DESIGNCOMPチーム構築／チームでのワーク			18
	18	始業式、就業日（大掃除）			15
	19	火災、津波訓練、健康診断、クラス交流会			14
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				96
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席率50%、提出課題30%、学習態度10%、課題発表10%				
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101		
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	インターンシップ	担当者	亀島 英正、他	科目必修区分	必修
授業概要	インテリア・建築を志す学生が進路の決定する上での助けとなるように、実際の設計事務所、施工現場、家具販売などの制作活動、仕事の進め方に接し実社会において働く心構えを持たせることを目的とします。				
到達目標	①仕事に対する心構えを述べる。 ②実務体験を通じて、自分の適性を確認する。 ③ビジネスマナーを習得する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	企業から与えられた作業をこなし、日誌・振り返りを書く。			5
	2	"			5
	3	"			5
	4	"			5
	5	"			5
	6	"			5
	7	"			5
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				35
教科書	参考文献【「KBC学園 就職活動の進め方、IDA手帳(My Life)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率20%、授業態度20%、実習レポート60%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	設計演習V	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	3年間の学習成果として、テーマ性がより社会的となったり、完成された形態に芸術性を求めたりという具体的に公共性・総合性を設計行為を考察する。				
到達目標	①市場調査、敷地調査から分析・推論し仮説を立てる。 ②構造種別は問わないが、各種構造で実現可能な空間を原則として、技術・知識を述べる。 ③集大成となる作品のため、これまでの課題を活かしてプレゼン表現に工夫を凝らす。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	課題オリエンテーション:課題目的・設計条件・必要諸室・要求図面などの説明、計画地現地調査・敷地調査報告書			10
	2	設計コンセプト/エスキース作成:平面を中心とした概略エスキースを作成する			10
	3	ブロックプラン:建築計画、法規の確認 平面計画			10
	4	エスキース:機能的処理(動線計画)を中心とした平面計画			10
	5	断面計画 立面計画			10
	6	模型制作 中間発表			10
	7	配置計画			10
	8	配置計画			10
	9	平面図作図			15
	10	平面図作図			15
	11	立面図 断面図作図			15
	12	立面図 断面図作図			15
	13	模型制作 建物及び外部空間			15
	14	模型制作 建物及び外部空間			15
	15	模型制作 建物及び外部空間			15
	16	プレゼンテーション図面レイアウト			9
	17	プレゼンテーション			5
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	合計時間数				199
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	2017年6月～2019年8月 (株)グランデザイン一級建築士事務所				

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築構造設計	担当者	新川清則	科目必修区分	必修
授業概要	建築一般構造と基礎構造力学を理解し、構造設計に関する基本的な知識と技術を習得し、構造設計の本質的な部分を理解する。				
到達目標	構造設計の進め方、鉄筋コンクリート構造と鉄骨構造設計などの概要を講述する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	構造設計の流れ 構造設計の進め方、構造設計の方針 小テスト・解説			2
	2	各荷重の理解 固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風荷重、地震荷重			2
	3	鉄筋コンクリート構造① 鉄筋コンクリート構造の特徴と材料			2
	4	鉄筋コンクリート構造② 梁に生じる力と鉄筋の役割、主筋量の算定			2
	5	鉄筋コンクリート構造③ 柱に生じる力と鉄筋の役割、主筋量の算定			2
	6	鉄筋コンクリート構造④ 梁・柱のせん断補強のしくみ、せん断補強筋の規定と重要性			2
	7	鉄筋コンクリート構造⑤ 床スラブ厚の算定、鉄筋量の算定			2
	8	鉄筋コンクリート構造⑥ 地盤と基礎について			2
	9	鉄骨構造① 鉄骨構造の特徴と材料、鋼材の性質			2
	10	鉄骨構造② 接合法 高力ボルト接合、溶接接合の有効断面積の算定			2
	11	鉄骨構造③ 引張材 引張材の設計式、有効断面積の算定			2
	12	鉄骨構造④ 圧縮材 圧縮材の設計式、座屈対策、局部座屈			2
	13	鉄骨構造⑤ 梁 H型鋼の梁、H型鋼梁の横座屈、梁の設計式			2
	14	鉄骨構造⑥ 柱 柱に生じる力と柱断面、柱の設計式、柱脚の形式、			2
	15	鉄骨構造⑦ 接合部分 設計法・名称、接手・仕口の設計式、柱－梁接合部の形式			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	「図解やさしい構造設計」 学芸出版社				
時間外学習					
成績評価方法	出席率15%、期末テスト70%、授業取り組み15%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	構造力学Ⅱ	担当者	新川清則	科目必修区分	必修
授業概要	1)何故建物が自立しているか、力のつりあいと荷重の種類を理解し、建物に作用する応力(ストレス)を理解する。 2)モーメント、単純梁・単純ラーメンに作用する反力の計算方法と曲げモーメント図を学ぶ。 3)断面の性質を理解し、応力度の概念を理解する。				
到達目標	構造力学の基礎、断面の性質、建築構造物を合理的かつ経済的に設計するための基礎となる力学について講述する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	自己紹介・構造力学Iの復習	(Text p. 16～126)	2	
	2	断面の性質① 図心と断面1次モーメント	(Text p.128～130)	2	
	3	断面の性質② 断面2次モーメント・断面係数	(Text p.131～138)	2	
	4	応力度① 軸応力度・曲げ応力度	(Text p.140～143)	2	
	5	応力度② せん断応力度、許容応力度	(Text p.144～156)	2	
	6	座屈①	(Text p.158～161)	2	
	7	座屈②	(Text p.162～164)	2	
	8	中間テスト	(Text p.128～164)	2	
	9	たわみ・たわみ角	(Text p.166～172)	2	
	10	不静定構造①	(Text p.174～176)	2	
	11	不静定構造②	(Text p.176～182)	2	
	12	塑性解析①	(Text p.184～188)	2	
	13	塑性解析②	(Text p.189～195)	2	
	14	予備日	(Text p.166～195)	2	
	15	期末テスト	(Text p.166～195)	2	
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数			30	
教科書	「やさしい構造力学」 オーム社				
時間外学習					
成績評価方法	出席率15%、授業取り組み15%、中間テスト35%、期末テスト35%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	BIM演習Ⅱ	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	BIM演習Ⅰの復習、Vetorworksソフトを使い2次元から3次元の作図する。BIMの特徴である図面からモデリングの視覚化の表現を身につける。BIMの新時代を見据えた目的とする。				
到達目標	①建築講義や設計などの表現手法として応用できる。 ②与えられた条件を元に建築計画ができる。 ③BIM利技術者試験2級レベルを理解する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	BIMの新時代について			3
	2	A&A特別授業(対面)			3
	3	2次元図面からモデリング(準1級レベル)			3
	4	A&A特別授業(対面)			3
	5	2次元図面からモデリング(準1級レベル)			3
	6	2次元図面からモデリング(準1級レベル)			3
	7	2次元図面からモデリング(準1級レベル)			3
	8	2次元図面からモデリング(準1級レベル)			3
	9	個人設計課題BIM提出			3
	10	BIM模擬テスト			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				30
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:80%、授業態度:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	設計演習VI	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	3年間の学習成果として、テーマ性がより社会的となったり、完成された形態に芸術性を求めたりという具体的に公共性・総合性を設計行為を考察する。沖縄県設計競技ティードフラックス概要を参考設計計画実務を学ぶ				
到達目標	①市場調査、敷地調査から分析・推論し仮説を立てる。②建設工事費の概算を算出する ②構造を主に鉄筋コンクリート造で可能な空間を原則として、技術・知識を述べる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	課題オリエンテーション・テーマ要項を検討する			7
	2	市場調査・敷地調査を実施。その後分析・推論する。			9
	3	各調査を用いてグループ討議を行いブラッシュアップをする。			7
	4	エスキース1:平面を中心とした概略エスキースを作成する。			7
	5	エスキース2:機能的処理(動線計画)エスキースを作成する。			7
	6	完成予想3次元CAD入力① 躯体立ち上げ			7
	7	完成予想3次元CAD入力② プレゼンシート作成			7
	8	完成予想3次元CAD入力③ プレゼンシート出力			7
	9	完成予想3次元CAD入力④ プレゼンシート出力			7
	10	工事費の概算を算出その他提出資料作成			7
	11	プレゼンテーション			15
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	合計時間数				87
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	2級建築士対策	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	2級建築士学科の建築計画・建築法規・構造力学・建築施工の4教科の合格ライン(原則60点)と、各学科の合格ライン(原則13点)の両方を満たすため実施する				
到達目標	①専門用語を理解し述べる。 ②要件を読み取り、設計計画をする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	学科Ⅰ(建築計画) 気候/空気/熱/光/空調和設備/給水設備/排水設備			2.5
	2	学科Ⅱ(建築法規) 序章/用語の定義/確認申請/面積・高さ等の算定/天井高/階段/建蔽率/容積率/建築士法			2.5
	3	学科Ⅲ(建築構造) 概要/力/力の合成と分解/力のつり合い/構造物に働く力/反力			2.5
	4	学科Ⅳ(建築施工) 概要/施工計画/管理計画/仮設工事/鉄筋工事/型枠工事/コンクリート工事			2.5
	5	学科Ⅲ(建築構造) ①反力/応力/地盤・基礎			1.5
	6	学科Ⅲ(建築構造) ②トラス/荷重・外力/構造計画			1.5
	7	学科Ⅰ(建築計画) ①気候・空気/熱			1.5
	8	学科Ⅰ(建築計画) ②光/音/空調和設備			1.5
	9	学科Ⅱ(建築法規) ①用語の定義/確認申請・建築手続/面積・高さ等の算定/建築士法			1.5
	10	学科Ⅱ(建築法規) ②用途地域/敷地等と道路/建蔽率/容積率/都市計画法			1.5
	11	学科Ⅳ(建築施工) ①契約/施工計画/管理計画/仮設工事/地盤・土工事・基礎			1.5
	12	学科Ⅳ(建築施工) ②鉄筋工事/型枠工事/コンクリート工事/コンクリートブロック工事/ALCパネル工事			1.5
	13	学科Ⅲ(建築構造) ③断面の性質/座屈/木造			1.5
	14	学科Ⅲ(建築構造) ④応力度/鉄筋コンクリート造			1.5
	15	学科Ⅱ(建築法規) ③高さ制限/日影規制/耐火・防火地域・準防火地域/高齢者・障害者等移動等円滑化促進法/住宅品質確保法/特定住宅瑕疵担保履行法等			3
	16	学科Ⅱ(建築法規) ④一般構造/防火区画/避難施設等/その他の関係法令			1.5
	17	模擬試験①			4
	18	学科Ⅰ(建築計画) ③給水設備/排水・衛生設備/色彩/電気・照明設備/消火・防災設備/省エネルギー			1.5
	19	学科Ⅰ(建築計画) ④住宅建築/商業建築/文化施設/教育施設/医療・福祉施設/各部計画/都市計画			1.5
	20	学科Ⅱ(建築法規) ⑤構造計算・構造強度/内装制限/雑則・その他の規定/耐震改修促進法/その他の関係法令			1.5
	21	模擬試験②			4
	22	学科Ⅲ(建築構造) ⑤壁構造/鉄骨造/その他の構造等/断面の性質/掘削/その他の建築材料			1.5
	23	学科Ⅳ(建築施工) ③鉄骨工事/木工事/防水工事/屋根工事/左官工事			1.5
	24	模擬試験③			4
	25	学科Ⅳ(建築施工) ④タイル・石工事/塗装工事/建具・ガラス工事/内装工事/改修工事/設備工事/施工機械・器具/測量/積算・見積			3
	26	模擬試験④			5
	27				
	28				
29					
	合計時間数				57
教科書	総合資格学院 2級建築士学科講座、日建学院 2級建築士学科講座				
時間外学習					
成績評価方法	出席率20%、授業取り組み60%、確認テスト20%				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	1996年4月～2003年3月 (有)総合企画エト				

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	建築計画Ⅱ	担当者	内間 直樹	科目必修区分	必修
授業概要	演習課題を行い、動線計画といった計画的領域から、空間構成、形態、といった基礎知識を習得する。				
到達目標	計画の考察や方法・進め方があることを学び、計画の基礎的な事項を学習、テキスト及び映像を使い講述。单元ごと小テストを行い建築物の空間を計画の知識・技術を学習する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	実践演習①:課題「三世代同居のための専用住宅(二世帯住宅)」			2
	2	〃			2
	3	〃			2
	4	〃			2
	5	〃			2
	6	〃			2
	7	動線計画のおさらい(人体寸法・動作寸法・モジュール・ゾーニング等)			2
	8	実践演習②:課題「未定」			2
	9	〃			2
	10	〃			2
	11	〃			2
	12	〃			2
	13	〃			2
	14	〃			2
	15	発表			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」				
時間外学習					
成績評価方法	出席率10%、期末テスト40%、授業取り組み40%、確認テスト10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	ワークアンドスタディ	担当者	大城 美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	インテリア・建築を志す学生が進路の決定する上での助けとなるように、実際の設計事務所、施工現場、家具販売などの制作活動、仕事の進め方に接し実社会において働く心構えを持たせることを目的とします。				
到達目標	①仕事に対する心構えを述べる。 ②実務体験を通じて、自分の適性を確認する。 ③進路決定へ繋げること				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	企業から与えられた作業をこなし、企業日誌を書く。			24
	2	〃			30
	3	〃			9
	4	報告書作成			5
	5	報告書提出			5
	6	報告会			5
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				78
教科書	参考文献【「KBC学園 就職活動の進め方、IDA手帳(My Life)】				
時間外学習					
成績評価方法	出席率20%、実習レポート80%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	社会学マーケティング	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	沖縄や国際社会など日常的に起こっている問題やSDGsなどに目を付け、その問題を解決するためにデザインの視点から何ができるのかを検証し、様々な提案・発信する力を身に付けます。また、自分で課題(コンテスト)や研究テーマをつくりチャレンジすることで、社会の問題に向き合う。				
到達目標	問題発見能力、問題解決能力を身に付け、人のためになるデザインを学ぶ。またグループワークをとおして、チームワーク力、コミュニケーション能力を身に付ける。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション・デザイン思考 ワーク①			3
	2	デザイン思考 ワーク②			3
	3	デザイン思考 ワーク③			3
	4	グループワーク① 課題設定			3
	5	グループワーク② アイデア出し			3
	6	グループワーク③ 企画・デザイン検討			3
	7	グループワーク④ 企画・デザイン検討			3
	8	グループワーク④ 企画・デザイン検討			3
	9	グループワーク⑤ プレゼンテーション			3
	10	建築見学ツアー			6
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				33
教科書	適宜、参考資料を配布				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	発想トレーニングⅡ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	自由な発想で店舗の立案・プランを行う。店舗を企画する上で必要なリサーチ、情報分析を行い、時代の変化やユーザーニーズを捉える。				
到達目標	他店舗をリサーチした内容をまとめ、分析をすることユーザーのニーズの本質を捉えることができる。その本質からコンセプトを立案し、図面、模型、パースで表現できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	課題概要の説明、課題の設定			2
	2	店舗リサーチ			2
	3	分析・コンセプト立案			2
	4	制作			2
	5	プレゼンテーション、次回課題の設定			2
	6	店舗リサーチ			2
	7	分析・コンセプト立案			2
	8	制作			2
	9	プレゼンテーション			2
	10	新規課題概要説明 プランニング演習① 設定:香川県			2
	11	プランニング演習② 設定:京都市			2
	12	プランニング演習③ 設定:沖縄県			2
	13	プランニング演習④ 設定:沖縄県			2
	14	振り返り、まとめ。			2
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				28
教科書	適宜、参考資料を配布				
時間外学習					
成績評価方法	出席率:10%、授業態度:20%、課題・発表評価:70%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	デザインコンプ	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	作品発表の場であるデザインコンプの企画運営(展示、物販、ワークショップ)を行う。 自己プロデュースの場として、作品を発表しつつ業界へアピールを行う。				
到達目標	グループでイベントの企画運営を通して、チームワークを身につける。 展示や小物雑貨の企画、デザイン力を磨く。 自分の名刺とポートフォリオを使用して、来場者へ作品の説明を行う。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	デザインコンプ導入			6
	2	デザインコンプ準備			13
	3	デザインコンプ準備			25
	4	デザインコンプ準備			24
	5	搬入			14
	6	デザインコンプ1日目			6
	7	デザインコンプ2日目			6
	8	デザインコンプ3日目			6
	9	搬出			6
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				106
教科書					
時間外 学習					
成績評価 方法	出席率80%、授業態度20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	特別授業	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	デザイン思考を認識する。 他分野・同分野の意見を取り入れ物事の考え方や考えるプロセスを考察する。 他の意見の価値を認める。				
到達目標	デザイン思考を通してDESIGNCOMPに向けて全学年で取り組みを行う。 主に共感・問題定義・創造・プロトタイプ・テストの5つの段階を経験・体感し、 DESIGNCOMPにて学生主体で行動することができる。 2年次・3年次はリーダーシップや責任感を意識し他のメンバーと協力する。 1年次は他者の意見を受け入れ、発言をしコミュニケーションを取る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			15
	2	新入生球技大会			6
	3	デザイン思考導入（導入1h／グループワーク分け）			2
	4	デザイン思考導入（コンセンサスワーク）			2
	5	デザイン思考A（導入）			2
	6	デザイン思考A（ワーク）			2
	7	デザイン思考A_発表と共有			2
	8	デザイン思考B（導入）			2
	9	デザイン思考B（ワーク）			2
	10	デザイン思考B（ワーク）			2
	11	デザイン思考B（発表）			2
	12	デザイン思考C（導入）			2
	13	デザイン思考C（ワーク）			2
	14	デザイン思考C（ワーク）			2
	15	デザイン思考C（発表）			2
	16	デザイン思考の振り返り			2
	17	DESIGNCOMPチーム構築／チームでのワーク			18
	18	始業式、就業日（大掃除）			15
	19	火災、津波訓練、健康診断、クラス交流会			9
	20	ライフプラン学習			14
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				105
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席率50%、提出課題30%、学習態度10%、課題発表10%				
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101		
実務経験紹介					